

えぐね

「えぐね」は、日本三大散居村の地、胆沢扇状地の屋敷の北西側に木を森のように植えて、冬の季節風から屋敷を守る防風林です。快適な住環境を形づくり、日本の原風景を代表する景観を生み出しています。本校が胆沢の地や人々にとってなくてはならない「えぐね」のような存在であり続けたいと願い、校報の名前にしています。〈学校HP [tps://isawachu.edumap.jp](https://isawachu.edumap.jp)〉

2学期始業式

始業式では次のことを話しました。

教科書の学習について、学ぶことの段階として、理解、定着、表現の3段階があると言われています。表現の部分がアウトプット(外に出す)になります。理解しているか、定着しているかどうかはみなさんが言葉や文字で、動きや画像などで表したことから判断するしかありません。同じように、学び方を身につけているかどうか、一人ひとりを大切にしているかどうか、コミュニケーションが正しくとれているかどうかを把握することは、表現に関わっています。

2学期は様々な場面での発表や表現を意識した行動を行ってほしいと思います。良い言動がお互いの向上につながります。1学期に引き続き、みんなで前進する胆沢中学校をつくっていきましょう。

夏休みの取組

好天と高温が続いた今年の夏休みでした。

暑い中でしたが、生徒たちはそれぞれの場で活動を継続してきました。



吹奏楽部は、いさわ水の郷夏祭りの開幕演奏を務めました。吹奏楽コンクール県大会では、銅賞を獲得しました。

女子ソフトテニス部は、東北大会(個人戦、団体戦)に出場しました。団体戦では予選リーグを1位通過し、決勝トーナメントに進出し、3位を獲得しました。

特設陸上部は、東北大会に出場し、2名が決

勝に進出しました。

・2・3年男子1500m 4位 高橋 陽

・1年男子1500m 4位 及川裕翔

3年生を中心とした、有志による焼石太鼓練習が始まりました。会議室では、毎日学習に取り組む3年生の姿がありました。学校内外で培った力を生かすためにも2学期の始まりを大切に進めてほしいと思います。

よりよいスタートのために

2学期は長丁場です。学期の始まりをスムーズに進めさせたいところです。中学校では、学校生活モードへの切替時期であることと、生徒の様子に注意することを心がけていきます。ご家庭でも生活リズムが整っていくように配慮をお願いします。また、次の点にも気を付けていただければと思います。

- ・エネルギー切れと感ずることはないか
- ・学校が負担や不安につながっていないか
- ・人間（友達）関係に変化はないか

熱中症について

体育の授業や部活動について、熱中症予防の観点から次のようにしています。気温35度を超えた場合、暑さ指数(WBGT)31以上の場合は活動停止を判断します。また、それ以下であっても安全確保のために必要な対策を

継続します。ご家庭でも、食事や睡眠をしっかりとりとることなどの健康管理もお願いします。

岩手県自転車条例

7月から全面実施となっています。自転車は車両であること、交通ルールを守ること、点検・整備を実施すること、自転車損害賠償責任保険等に加入することが明記されています。

簡単で便利な乗り物ですが、利用にあたっては十分注意したいところです。

高1調査⑱「お小遣い」

お小遣いをもらっているか	
定期的にもらっている	56. 6%
必要な時にもらっている	28. 7%
もらっていない	13. 1%
1か月あたりの平均金額	
2000円未満	7. 9%
2000円台	13. 5%
3000円台	23. 1%
4000円台	6. 6%
5000円台	36. 8%
.....	
1万円～2万円	5. 2%

この調査によると、全体の平均金額は、4146円とのことです。調査結果を見ると、金額にかなりの開きがあります。想像すると、小遣い(使い道)の捉え方の差やアルバイトの有無も関係しているのではないかと思います。適切な金銭感覚をもとに、大事に扱わせたいと思います。